

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	市街化調整区域土地利用適正誘導事業	NO.	100
担当所属	都市整備課	関連所属	

【事務事業基本情報】

章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
施策	1 市街地形成	会計区分	一般会計
方向性	1 計画的なまちづくりの推進	新規事業	○
		総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	市街化調整区域において、都市計画マスタープランに基づいた土地利用を図るため、地区計画の基準（ガイドライン）を策定し、その運用を図ります。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 （何のために）	都市計画マスタープランに基づいて計画される土地利用を実現するため、市街化調整区域における地区計画策定についての基準（ガイドライン）を示し、自然環境と調和した秩序ある都市づくりを目指す。
対象 （誰・何を対象として）	市民、事業者、行政
手段 （どのようなやり方で）	都市計画マスタープランにおける土地利用の方針と整合を図り策定する。
成果 （どのような成果を得ようとしているか）	市街化調整区域におけるスプロールの防止、既存集落の活性化、広域的な交通利便性を活かした地域振興に寄与する産業・観光施設の立地など、計画的な規制誘導が図られる。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	地区別説明会の実施 地区計画運用基準の策定	地区計画制度の周知 都市計画提案制度の周知	地区計画制度の周知 都市計画提案制度の周知

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	① 地区計画制度、都市計画提案制度の周知回数	回	0.0	1.0	2.0	2.0	2.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	0	17	6	6	29
一般財源	0	17	6	6	29
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	地籍調査事業	NO.	101
担当所属	土木管理課	関連所属	

【事務事業基本情報】

章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
施策	1 市街地形成	会計区分	一般会計
方向性	1 計画的なまちづくりの推進	新規事業	○
総合計画		総合戦略	

【事業内容】

事業内容	一筆ごとの土地の所有者、地番及び地目を調査し、境界及び地籍に関する測量を行います。その調査結果から地籍図及び地籍簿を作成し、登記所へ備え付けます。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	地籍の明確化を図る。
対象 (誰・何を対象として)	市内の土地及びその所有者
手段 (どのようなやり方で)	土地所有者等の立会を実施することにより、境界等の確認を行い、一筆毎の土地の境界等を明らかにし、各筆の境界に関する点の測量や各筆の面積等の測定等を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	毎筆の土地について、地籍（地番、地目、境界、面積、所有者）を明らかにすることにより、土地境界をめぐるトラブルの未然防止や公共事業の効率化・コスト縮減、公共物管理の適正化、課税の適正化・公平化、災害復旧の迅速化に寄与する。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	【1工区】 地籍調査事業計画・準備 実施計画作成	【1工区】 地籍図根三角測量 地籍図根多角測量 現況測量 一筆地調査 細部図根測量	【1工区】 一筆地測量 地籍図原図作成 地籍測定 地籍図及び地籍簿の作成

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 地籍調査面積	k m ²	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3
	②						
	③						
活動指標	① 地籍調査率	%	0.0	0.4	0.4	0.4	0.4
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度 合計
事業費	0	2,568	24,338	13,238	40,144
一般財源	0	2,568	10,838	4,238	17,644
特定財源	0	0	13,500	9,000	22,500

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	市街地内市道等整備事業	NO.	102
担当所属	都市整備課	関連所属	

【事務事業基本情報】

章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
施策	1 市街地形成	会計区分	一般会計
方向性	2 市街地整備の推進	新規事業	
		総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	市街化区域内の生活環境の改善を図り、安全安心で良好な市街地形成を促進するために、市民にみちづくり要綱の制度や効果をPRし、理解と協力を得て、市街化区域内の狭隘道路の拡幅整備を目指します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	市街化区域内の生活環境の改善を図り、安全安心で良好な市街地形成を促進する。
対象 (誰・何を対象として)	市街化区域内の幅員6m未満の市道及び市が管理する道路。
手段 (どのようなやり方で)	市民にみちづくり要綱の制度や効果をPRし、理解と協力を得て、市街化区域内の狭隘道路の拡幅整備を目指す。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	歩行者等の安全確保、緊急車両の到着時間の短縮、地域の生活環境の向上等により安心安全で良好な市街地形成の促進が図れる。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	先進自治体事例の調査・検討 みちづくり要綱の改正	みちづくり要綱の周知・啓発	みちづくり要綱の周知・啓発

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	① みちづくり制度PR	回	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度 合計
事業費	6	6	6	6	18
一般財源	6	6	6	6	18
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	景観まちづくり推進事業	NO.	103
担当所属	都市整備課	関連所属	

【事務事業基本情報】

章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
施策	1 市街地形成	会計区分	一般会計
方向性	3 良好な景観形成	新規事業	
総合計画		総合戦略	

【事業内容】

事業内容	景観計画及び条例の適切な運用により、市内の良好な景観の形成を推進するとともに、景観に関する意識啓発を図ります。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	自然や歴史・文化などの景観資源を活かし、市民が愛着と誇りを感じる、魅力あふれる袖ヶ浦の景観づくりを実現していく。
対象 (誰・何を対象として)	市民、事業者、行政
手段 (どのようなやり方で)	景観計画及び条例の適切な運用により、良好な景観の形成を推進する。また、景観まちづくり賞等を活用して、意識啓発を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	都市景観の形成を計画的に推進するとともに、市民が誇りを持てる景観づくりを推進する。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	景観計画の運用 景観まちづくり推進団体の活動支援 意識啓発	景観計画の運用 景観まちづくり推進団体の活動支援 意識啓発	景観計画の運用 景観まちづくり推進団体の活動支援 意識啓発

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 景観まちづくり推進団体数	団体	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
	② 景観重要樹木・建造物・公共施設の指定数	件	6.0	7.0	7.0	7.0	7.0
	③ 違反広告物除却活動数	回	35.0	35.0	37.0	37.0	37.0
活動指標	① 意識啓発についてホームページ等で周知した回数	回	20.0	20.0	21.0	22.0	22.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	268	266	266	266	798
一般財源	0	0	0	0	0
特定財源	268	266	266	266	798

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	都市公園整備事業	NO.	104
担当所属	都市整備課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
	施策	2 公園・緑地	会計区分	一般会計
	方向性	1 公園・緑地の適正管理	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	袖ヶ浦駅海側地区に計画された近隣公園を、近隣住民に憩いと安らぎを与える魅力ある公園となるよう整備します。袖ヶ浦公園及び百目木公園におけるマーケットサウンディング調査の実施により、P-P F Iの可能性について検討するとともに、市内の既存公園については、再整備の計画を策定します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	地域の要望を把握し、公園施設の更新や機能拡充等、計画的に整備を推進するとともに、バリアフリー化やユニバーサルデザインに配慮した、だれもが身近で気軽に利用できる公園の整備を推進します。
対象 (誰・何を対象として)	市民等
手段 (どのようなやり方で)	市内公園の整備及び機能拡張を行い、袖ヶ浦駅海側地区においては、アンケート調査により小学校児童及び近隣住民の要望を把握し、利用者のニーズに合った魅力ある近隣公園を開設する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	子どもから大人までだれもが安全で利用しやすい公園が整備され、憩いの場として利用されています。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	袖ヶ浦駅海側地区近隣公園の整備	袖ヶ浦公園及び百目木公園における民間事業者への都市公園の活用に関するヒアリング調査の実施	公園再整備計画の策定

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	① 袖ヶ浦駅海側地区公園整備箇所	箇所	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	22,195	209,986	6,000	5,000	220,986
一般財源	595	86	6,000	5,000	11,086
特定財源	21,600	209,900	0	0	209,900

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	公園緑地管理事業			NO.	105
担当所属	都市整備課		関連所属		

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度	
	施策	2 公園・緑地	会計区分	一般会計	
	方向性	1 公園・緑地の適正管理	新規事業		
			総合戦略		

【事業内容】

事業内容	利用者が快適に過ごせるよう、公園緑地の適正な維持管理を行います。
------	----------------------------------

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	適切で効率的な維持管理を推進し、地域に愛される賑わいのある公園の実現を目指す。
対象 (誰・何を対象として)	市民及び市外からの観光客
手段 (どのようなやり方で)	指定管理制度を活用し、効果的で効率的な維持管理を推進する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	子どもから大人までだれもが安全で利用しやすい公園が整備され、憩いや地域のイベントの場として利用されている。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	指定管理者による適正な維持管理の実施 老朽施設の補修及び更新 自治会等公園維持管理活動協力団体の募集	指定管理者による適正な維持管理の実施 老朽施設の補修及び更新 自治会等公園維持管理活動協力団体の募集	指定管理者による適正な維持管理の実施 老朽施設の補修及び更新 自治会等公園維持管理活動協力団体の募集

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	① 老朽施設の改修件数	基	33.0	43.0	53.0	63.0	63.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度 合計
事業費	204,219	184,347	209,838	209,814	603,999
一般財源	183,263	163,391	188,882	188,858	541,131
特定財源	20,956	20,956	20,956	20,956	62,868

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	都市公園交流機会創出事業	NO.	106
担当所属	都市整備課	関連所属	

【事務事業基本情報】

章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
施策	2 公園・緑地	会計区分	一般会計
方向性	2 公園・緑地を活用した交流機会の創出	新規事業	○
		総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	袖ヶ浦公園の花々や隣接する農畜産物直売所ゆりの里との回遊性、百目木公園の運動施設やプールなどの機能を活用し、市の主要交流拠点としての情報を発信することにより、交流人口の拡大及び周辺地域の活性化を図ります。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	公園の持つ様々な機能を向上させ、市内外へ積極的に情報発信することにより交流人口の拡大を図ります。
対象 (誰・何を対象として)	市民及び観光客等
手段 (どのようなやり方で)	袖ヶ浦公園の魅力の一つである花菖蒲園の土壌改良や桜の植え替えを行い、百目木公園では、運動施設やプールなど特徴的な施設を有していることから積極的にPRを行う。また、指定管理者の自主事業として開催している袖ヶ浦及び百目木公園まつりについても、指定管理者と共に企画内容の充実を目指します。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市内外からの利用者が増加し、賑わいのある公園となっています。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	袖ヶ浦公園花菖蒲園の浚渫整備 袖ヶ浦公園桜植え替え	袖ヶ浦公園花菖蒲園の浚渫整備 袖ヶ浦公園桜植え替え 公園まつり等のPR活動	袖ヶ浦公園花菖蒲園の浚渫整備 袖ヶ浦公園桜植え替え 公園まつり等のPR活動

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 袖ヶ浦、百目木公園まつり来場者数	人	16,700.0	16,700.0	17,000.0	17,000.0	17,000.0
	②						
	③						
活動指標	① 袖ヶ浦、百目木公園まつりPR回数	回	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	高須箕和田線建設事業（南袖延伸）	NO.	107
担当所属	土木建設課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
	施策	3 道路	会計区分	一般会計
	方向性	1 都市計画道路の整備	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	（都）高須箕和田線既存整備区間の事業効果をさらに高めるため、市内陸部と臨海部を一本で結び、東京湾岸道路に接続する同路線について、袖ヶ浦駅海側土地区画整理地区から南袖地区の間を整備します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 （何のために）	袖ヶ浦駅海側地区や木更津市金田地区及び国道16号の代替路線となる東京湾岸道路と連絡し、広域的なネットワークを構成する道路の整備を目的とする。
対象 （誰・何を対象として）	道路利用者
手段 （どのようなやり方で）	平成29年度に開通した高須箕和田線（土地区画整理境）から、南袖神納線の未整備区間を整備する。
成果 （どのような成果を得ようとしているか）	安全で円滑な交通機能を確保し、健全な都市の発展に寄与する。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	橋梁上部工 上部鋼板桁製作 道路改築工事 橋梁整備工事委託 用地買収	橋梁上部工 上部鋼板桁架設 橋梁整備工事委託 道路改築工事 家屋事後調査委託	施設台帳整備委託 地目変更登記委託 交通量調査委託

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 用地取得率	%	98.0	100.0			
	② 橋梁整備率	%	40.0	66.0	100.0		
	③ 道路整備進捗率 （舗装工除く）	%	12.0		100.0		
活動指標	① 交通量調査	回	0.0			1.0	1.0
	② 用地買収面積	m ²	9,996.0	232.1			
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度 合計
事業費	340,118	175,411	511,449	5,350	692,210
一般財源	41,618	41,907	52,243	5,346	99,496
特定財源	298,500	133,504	459,206	4	592,714

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	西内河根場線建設事業	NO.	108
担当所属	土木建設課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
	施策	3 道路	会計区分	一般会計
	方向性	1 都市計画道路の整備	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	県が整備を実施する西内河根場線は、袖ヶ浦駅海側土地区画整理地区と木更津市金田地区を結び、地域の連携や経済の活性化を目的としており、県と調整を図りながら整備に対して負担金を支出し早期完成を目指します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	袖ヶ浦駅海側地区と木更津市金田地区を結び、地域の連携や経済の活性化を目的とする。
対象 (誰・何を対象として)	道路利用者
手段 (どのようなやり方で)	県への要望活動及び事業協力
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	安全で円滑な交通機能を確保し、健全な都市の発展に寄与する。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	橋梁下部工事、道路工事に伴う負担金	橋梁下部工事、橋梁上部工事に伴う負担金	橋梁上部工事に伴う負担金

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 全体整備率	%	0.0	9.4	42.5	75.5	75.5
	②						
	③						
活動指標	① 負担金支出率	%	13.8	45.0	76.2	94.0	94.0
	② 県との打合せ回数	回	12回	12.0	12.0	12.0	12.0
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度 合計
事業費	25,225	30,406	55,573	31,605	117,584
一般財源	3,705	169	5,573	3,205	8,947
特定財源	21,520	30,237	50,000	28,400	108,637

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	三箇横田線建設事業			NO.	109
担当所属	土木建設課		関連所属		

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度	
	施策	3 道路	会計区分	一般会計	
	方向性	2 市道の整備	新規事業		
			総合戦略		

【事業内容】

事業内容	通学路の安全性と交通利便性の向上を図るため、広域農道から県道長浦上総線を通り市道代宿横田線間の交差点改良および道路改良工事を実施します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	横田地区の交通利便性の向上と安全な通学路を確保すること。併せて国道409号の横田市街地区の渋滞緩和と通行の安全に寄与することを目的とする。
対象 (誰・何を対象として)	平川中学校、中川小学校の生徒、児童や地域住民及び道路利用者
手段 (どのようなやり方で)	平成26年度から道路改良工事に着手し、30年度末には第1期計画延長3,060mのうち694mの整備が完成している。今後は、残り区間において道路改良工事や長浦上総線交差点ほか2か所の交差点の整備実施を予定している。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	歩行者、通学者の安全性の確保及び地域住民の利便性を確保する。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	道路改良工事 交差点詳細設計委託（三箇横田線代宿横田線） 路線測量	交差点改良工事（長浦上総線三箇横田線） 用地買収（公社買戻し）	交差点改良工事（三箇横田線代宿横田線） 用地買収

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 道路整備率	%	31.2	31.2	45.6	59.9	59.9
	② 用地取得率	%	56.0	56.0	98.0	100.0	100.0
	③						
活動指標	① 道路整備延長	m	954.0	0.0	440.0	440.0	440.0
	② 用地取得面積	m ²	12,273.0	0.0	9,204.0	440.0	440.0
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度 合計
事業費	79,265	23,493	140,862	100,049	264,404
一般財源	20,459	8,426	22,601	18,404	49,431
特定財源	58,806	15,067	118,261	81,645	214,973

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	飯富 2 9 号線・代宿横田線建設事業	NO.	110
担当所属	土木建設課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
	施策	3 道路	会計区分	一般会計
	方向性	2 市道の整備	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	通学路の安全と交通利便性の向上を図るため、飯富 2 9 号線および代宿横田線について道路改良工事を実施します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	交通利便性の向上と児童生徒が安心して歩ける通学路を確保する。
対象 (誰・何を対象として)	根形小中学校の生徒、児童や地域住民及び道路利用者
手段 (どのようなやり方で)	浮戸川上流Ⅲ期地区のほ場整備に併せて、道路の拡幅用地を非農用地として創設換地で確保し、計画的な道路整備を推進する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	歩行者、通学者の安全性の確保及び地域住民の利便性を確保する。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画		不動産鑑定委託 用地買収（公社）	道路予備設計委託 整備手法の検討

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	① 道路整備延長	m	0.0				
	② 用地買収面積	m ²	0.0				
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年 度	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 2 ～ R 4 年度 合計
事業費	425	88	425	19,162	19,675
一般財源	425	88	425	19,162	19,675
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	国県道・自動車専用道路等整備促進事業	NO.	111
担当所属	土木建設課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
	施策	3 道路	会計区分	一般会計
	方向性	3 広域幹線道路等の整備促進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	広域幹線道路のネットワークを形成し、市内の交通利便性の更なる向上、地域の更なる活性化を図るために（仮称）かずさインターチェンジや東京湾岸道路などの整備促進について国・県に要望します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 （何のために）	広域幹線道路ネットワークを形成し、更なる交通利便性の向上と地域の活性化を図ることを目的とする。
対象 （誰・何を対象として）	市民・道路利用者（観光・物流）の利便性、国・県に対する要望活動
手段 （どのようなやり方で）	国県道・自動車専用道路等の整備促進を国・県に要望する。
成果 （どのような成果を得ようとしているか）	交通利便性の向上と地域の活性化が図られる。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	（仮称）かずさインターチェンジ、東京湾岸道路などの各種要望活動、協議会活動	（仮称）かずさインターチェンジ、東京湾岸道路などの各種要望活動、協議会活動	（仮称）かずさインターチェンジ、東京湾岸道路などの各種要望活動、協議会活動

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	① 要望活動回数	回	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	431	430	430	430	1,290
一般財源	431	430	430	430	1,290
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	NO.	112
担当所属	土木管理課	関連所属	

【事務事業基本情報】

章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
施策	3 道路	会計区分	一般会計
方向性	4 道路施設の適正管理	新規事業	
		総合戦略	

【事業内容】

事業内容	市道の橋梁について、適切な点検と修繕により、長寿命化を図りつつ適正な維持管理を実施します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	市道橋全135橋のうち、本計画期間において、66橋の定期点検を実施、前回Ⅲ判定の3橋について修繕を実施、Ⅱ判定の1橋について耐震補強補修工事を行い、長寿命化を図る。
対象 (誰・何を対象として)	道路橋135橋のうち、66橋梁 修繕対象橋梁：成教橋（Ⅱ）・代宿箕輪橋（Ⅲ）・長作橋（Ⅲ）・久保田行基谷橋（Ⅲ） 撤去検討橋梁：新川橋（Ⅳ）「浮戸川」
手段 (どのようなやり方で)	国の交付金を活用し定期点検及び補修・耐震化を推進し長寿命化を図る
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	橋の予防的な補修工事を実施することにより、橋梁の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの軽減を図る、また、災害時における緊急輸送路等を確保する。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	定期点検 成教橋耐震補修工事（下部工） 長作橋梁補修設計	定期点検 長作橋補修工事 新川橋撤去工事（上部工）	定期点検 15m以上橋梁耐震補修設計 久保田行基谷橋補修工事 新川橋撤去工事（下部工）

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 長寿命化済の橋梁数（累計）	基	2.0	3.0	5.0	6.0	6.0
	②						
	③						
活動指標	① 橋梁定期点検数	橋	0.0	12.0	17.0	37.0	37.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	79,765	162,896	210,505	120,505	493,906
一般財源	15,465	15,028	27,305	18,105	60,438
特定財源	64,300	147,868	183,200	102,400	433,468

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	交通安全施設維持管理事業	NO.	113
担当所属	土木管理課	関連所属	

【事務事業基本情報】

章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
施策	3 道路	会計区分	一般会計
方向性	4 道路施設の適正管理	新規事業	
		総合戦略	

【事業内容】

事業内容	歩行者や自転車の安全確保のため、「ゾーン30区域」や「生活道路対策エリア」の指定を受けた区域について、警察等と協議を行いながら安全対策を実施します。 また、近年多発している交差点での歩行者事故に対応するため、安全柵の設置工事を実施します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	歩行者や自転車の安全確保のため、「ゾーン30」や「生活道路対策エリア」の指定を受けた区域について、警察等と協議を行いながら安全対策を実施する。 また、近年多発している交差点での歩行者事故に対応するため、安全柵の設置工事を実施する。
対象 (誰・何を対象として)	通学路や住宅街の抜け道等で自動車交通量が多い個所
手段 (どのようなやり方で)	「ゾーン30」や「生活道路対策エリア」の指定を受けた後、交付金を活用して安全対策を実施する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	通学路や住宅街の抜け道、交差点等で危険と感じる個所の解消

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	福王台地区 今井地区 危険箇所の点検 安全対策の実施	福王台地区 今井地区 危険箇所の点検 安全対策の実施	福王台地区 今井地区 危険箇所の点検 安全対策の実施

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	①	ゾーン30又は生活道路対策エリア指定箇所数	箇所	6.0	6.0	7.0	8.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	17,000	13,200	16,000	16,000	45,200
一般財源	8,500	7,200	10,500	10,500	28,200
特定財源	8,500	6,000	5,500	5,500	17,000

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	道路アダプトプログラム事業			NO.	114
担当所属	土木管理課		関連所属		

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度	
	施策	3 道路	会計区分	一般会計	
	方向性	4 道路施設の適正管理	新規事業		
			総合戦略	○	

【事業内容】

事業内容	協働のまちづくりを理念に、市民参加による道路の美化活動を支援し、市民と協働して道路の美化環境の形成を図る。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	「道路アダプトプログラム」制度の実施により、市民参加による道路の美化活動を行い、道路愛護と協働のまちづくりを推進する。
対象 (誰・何を対象として)	道路の美化活動等に参加しようとする自治会及び市内に事業所を有する企業等の団体、または、市内に居住する2人以上の団体
手段 (どのようなやり方で)	道路除草について、交通量の多い幹線道路を市が行い、市内各地区の生活道路については市民と協働して行う。市は、道路の清掃や除草などを行う市民団体等に草刈り機の燃料等を支給し活動を支援する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	道路アダプトプログラム制度を実施することにより、道路愛護の醸成や効率的な道路除草等の維持管理を行うことができ、安全で快適な道路環境の維持を図れることができる。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	道路アダプトプログラム制度の周知・PR	道路アダプトプログラム制度の周知・PR	道路アダプトプログラム制度の周知・PR

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 参加団体数	団体	6.0	8.0	10.0	12.0	12.0
	②						
	③						
活動指標	① 制度の周知回数	回	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	178	243	297	356	896
一般財源	178	243	297	356	896
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	奈良輪雨水ポンプ場維持管理事業	NO.	115
担当所属	下水対策課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
	施策	4 河川	会計区分	一般会計
	方向性	2 雨水排水施設の適正管理	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	奈良輪雨水ポンプ場の適正な維持管理を行い、奈良輪第一排水区全体を浸水被害から守ります。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	奈良輪雨水ポンプ場の適正な維持管理を行い、奈良輪第一排水区全体を浸水被害から守る。
対象 (誰・何を対象として)	奈良輪第一排水区域内の住民及び奈良輪雨水ポンプ場
手段 (どのようなやり方で)	無人運転の雨水ポンプ場が、常時適正に稼働するように定期的な保守点検を実施する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	奈良輪第一排水区内の浸水被害を防止する。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	奈良輪雨水ポンプ場維持管理業務 ダストフェンス設置工事	奈良輪雨水ポンプ場維持管理業務	奈良輪雨水ポンプ場維持管理業務

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 浸水被害	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	②						
	③						
活動指標	① 奈良輪雨水ポンプ場保守点検	回	52.0	52.0	52.0	52.0	52.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度 合計
事業費	18,357	20,584	18,934	18,934	58,452
一般財源	18,357	20,584	18,934	18,934	58,452
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	下水道維持管理事業（公共下水道）			NO.	116
担当所属	下水対策課		関連所属		

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度	
	施策	5 下水道	会計区分	下水道事業会計	
	方向性	1 下水道施設の適正管理	新規事業		
			総合戦略		

【事業内容】

事業内容	包括的維持管理業務委託を活用した施設の効率的かつ適正な維持管理を行うとともに、施設の延命化を図り、公共用水域の水質保全に努めます。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 （何のために）	汚水処理施設について適正な維持管理を行い、公共用水域の水質保全、生活環境の改善を図る。
対象 （誰・何を対象として）	公共下水道区域内の下水道使用者及び汚水処理施設
手段 （どのようなやり方で）	袖ヶ浦終末処理場、中継ポンプ機場については、包括的維持管理業務を活用した効率的かつ適正な維持管理に努める。 管路施設については、職員によるパトロールを行いながら、施設の機能維持に努める。 また、公共下水道未接続世帯については、水洗化PRを実施することで、普及を促進させる。
成果 （どのような成果を得ようとしているか）	包括的維持管理業務による民間企業のノウハウを生かした効率的かつ適正な維持管理を行い、汚水処理施設の延命化を図り、公共用水域の水質保全に努める。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	包括的維持管理業務及びその他維持管理業務 ・ 終末処理場 ・ 中継ポンプ機場 ・ 管路施設	包括的維持管理業務及びその他維持管理業務 ・ 終末処理場 ・ 中継ポンプ機場 ・ 管路施設	包括的維持管理業務及びその他維持管理業務 ・ 終末処理場 ・ 中継ポンプ機場 ・ 管路施設

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 水洗化率	%	96.8 (H30)	97.0	97.1	97.2	97.2
	② 放流水質（年平均COD値）	mg/L	9.5 (H30)	20.0	20.0	20.0	20.0
	③						
活動指標	① 水洗化広報、PRの実施回数	件	61件 (H30)	61.0	61.0	61.0	61.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	318,629	338,180	338,038	338,038	1,014,256
一般財源	1,225	0	0	0	0
特定財源	317,404	338,180	338,038	338,038	1,014,256

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	下水道維持管理事業（農業集落排水）			NO.	117
担当所属	下水対策課		関連所属		

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度	
	施策	5 下水道	会計区分	下水道事業会計	
	方向性	1 下水道施設の適正管理	新規事業		
			総合戦略		

【事業内容】

事業内容	包括的維持管理業務を活用した施設の効率的かつ適正な維持管理を行うとともに、施設の延命化を図り、公共用水域の水質保全、農村の生活環境の改善に努めます。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 （何のために）	汚水処理施設について適正な維持管理を行い、農業用排水及び公共用水域の水質保全、農村の生活環境の改善を図る。
対象 （誰・何を対象として）	袖ヶ浦東部地区（三箇、高谷、百目木・横田の一部） 松川地区（横田、三黒、谷中、永地） 平岡地区（野里、永地、上泉、下泉、永吉）の農業集落排水使用者及び汚水処理施設
手段 （どのようなやり方で）	東部浄化センター、中継ポンプ機場については、包括的維持管理業務を活用した効率的かつ適正な維持管理に努める。 管路施設については、職員によるパトロールを行いながら、施設の機能維持に努める。 また、農業集落排水未接続世帯については、水洗化PRを実施することで、普及を促進させる。
成果 （どのような成果を得ようとしているか）	包括的維持管理業務による民間企業のノウハウを生かした効率的かつ適正な維持管理を行い、汚水処理施設の延命化を図り、農業用排水及び公共用水域の水質保全に努める。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	包括的維持管理業務及びその他維持管理業務 ・東部浄化センター ・中継ポンプ機場 ・管路施設	包括的維持管理業務及びその他維持管理業務 ・東部浄化センター ・中継ポンプ機場 ・管路施設	包括的維持管理業務及びその他維持管理業務 ・東部浄化センター ・中継ポンプ機場 ・管路施設

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 水洗化率	%	79.2 (H30)	81.0	82.0	83.0	83.0
	② 放流水質（年平均COD値）	mg/L	4.6 (H30)	10.0	10.0	10.0	10.0
	③						
活動指標	① 水洗化広報、PRの実施回数	件	112.0 (H30)	112.0	112.0	112.0	112.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	69,782	66,020	66,020	66,020	198,060
一般財源	17,393	0	0	0	0
特定財源	52,389	66,020	66,020	66,020	198,060

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	ストックマネジメント事業（公共下水道）	NO.	118
担当所属	下水対策課	関連所属	

【事務事業基本情報】

章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度～令和4年度
施策	5 下水道	会計区分	下水道事業会計
方向性	1 下水道施設の適正管理	新規事業	○
		総合戦略	

【事業内容】

事業内容	袖ヶ浦市下水道ストックマネジメント計画に基づき、施設の点検調査や改築更新を行うことにより、既存ストックの長寿命化や維持管理コストの平準化を図るとともに、施設の故障や事故を未然に防止します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 （何のために）	既存ストックの長寿命化と維持管理コスト平準化を図り、併せて施設の故障や事故を未然に防止する。
対象 （誰・何を対象として）	公共下水道施設
手段 （どのようなやり方で）	終末処理場や主要な管渠の点検調査を計画的に行い、必要に応じて施設の改築更新を実施する。
成果 （どのような成果を得ようとしているか）	既存ストックの長寿命化や維持管理コストの平準化を図るとともに、施設の故障や事故を未然に防止し、併せて施設の有効活用を図る。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	施設の点検調査(処理場・主要管渠) 主要管渠の内面調査委託(JR軌道下他) マンホール蓋交換工事 ストックマネジメント計画(第Ⅱ期・詳細版)策定(処理場他)	施設の点検調査(処理場・主要管渠) 主要管渠の内面調査委託(JR軌道下他) マンホール蓋交換工事 ストックマネジメント計画(第Ⅱ期・詳細版)策定(処理場他)	施設の点検調査(処理場・主要管渠) 主要管渠の内面調査委託(JR軌道下他) マンホール蓋交換工事 ストックマネジメント計画(第Ⅱ期・詳細版)策定(処理場他)

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	① マンホール蓋交換箇所	箇所	0 (H30)	20.0	30.0	40.0	40.0
	② 主要管渠の内面調査実延長	m	0 (H30)	509.0	701.0	1,054.0	1,054.0
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度 合計
事業費	2,850	8,150	19,300	30,150	57,600
一般財源	0	0	0	0	0
特定財源	2,850	8,150	19,300	30,150	57,600

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	ストックマネジメント事業（農業集落排水）	NO.	119
担当所属	下水対策課	関連所属	

【事務事業基本情報】

章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度～令和4年度
施策	5 下水道	会計区分	下水道事業会計
方向性	1 下水道施設の適正管理	新規事業	○
総合計画		総合戦略	

【事業内容】

事業内容	農業集落排水施設のストックマネジメント計画を策定し、施設の点検調査や改築更新を行うことにより、既存ストックの長寿命化や維持管理コストの平準化を図るとともに、施設の故障や事故を未然に防止します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 （何のために）	ストックマネジメント手法により、施設の機能診断を実施し、施設の劣化状況を踏まえた最適整備構想の策定を行う。
対象 （誰・何を対象として）	農業集落排水地区（袖ヶ浦東部地区、松川地区、平岡地区）
手段 （どのようなやり方で）	国庫補助事業を活用し、ストックマネジメント手法による施設の機能診断を実施し、施設の劣化状況を把握する。
成果 （どのような成果を得ようとしているか）	施設の機能診断の結果を踏まえ、仮）袖ヶ浦市農業集落排水施設最適整備構想の策定により、施設の延命化を図る。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	施設の機能診断調査の実施 最適整備構想の策定	最適整備構想事業申請	最適整備構想に基づく事業計画策定

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	① 最適整備構想計画策定進捗率	%	0 (H30)	40.0	55.0	85.0	85.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	0	12,949	0	5,000	17,949
一般財源	0	0	0	0	0
特定財源	0	12,949	0	5,000	17,949

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	下水道総合地震対策整備事業	NO.	120
担当所属	下水対策課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
	施策	5 下水道	会計区分	下水道事業会計
	方向性	1 下水道施設の適正管理	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	袖ヶ浦市下水道総合地震対策整備計画に基づき、大規模地震等の災害においても、下水道の機能や公衆衛生を確保するため、重要な污水管の耐震化を図るとともに、避難所へのマンホールトイレの整備を図ります。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	大規模地震等の災害時においても、公共下水道の機能を確保し、公衆衛生の維持に寄与する。
対象 (誰・何を対象として)	市民・公共下水道処理区域・污水管渠
手段 (どのようなやり方で)	国庫補助事業を活用し、重要な污水管の耐震化を図るとともに、避難所へのマンホールトイレの整備を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	大規模災害時においても、最低限の污水处理機能を保持することにより、迅速な災害復旧と早期の生活基盤の復興を図る。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	污水管耐震化工事(管更生) 横田第一污水幹線二条化工事 マンホールトイレ整備工事	污水管耐震化工事(管更生) マンホール浮上対策工事 横田第一污水幹線二条化工事	污水管耐震化工事(管更生) 横田第一污水幹線二条化工事 マンホールトイレ整備工事 終末処理場総合地震対策整備計画策定

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	①						
	②						
	③						
活動指標	① 主要な污水管の耐震化整備延長	km	58.23 (H30)	61.8	63.0	63.7	63.7
	② 指定避難所へのマンホールトイレ整備数	箇所	9 (H30)	13.0	13.0	14.0	14.0
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	34,548	38,040	151,000	160,960	350,000
一般財源	103	0	0	0	0
特定財源	34,445	38,040	151,000	160,960	350,000

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	木造住宅耐震化促進事業	NO.	121
担当所属	都市整備課	関連所属	

【事務事業基本情報】

章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
施策	6 住宅	会計区分	一般会計
方向性	1 良質な住宅性能の確保	新規事業	
		総合戦略	

【事業内容】

事業内容	市内の木造住宅の耐震化を促進するため、無料の耐震相談会等による普及・啓発活動の実施及び国・県・市による耐震診断・改修工事費用に対する助成を実施します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	想定される大規模地震の発生による建物の損壊・倒壊被害、またそれに伴う隣地及び周辺住民への二次的被害を抑制する。
対象 (誰・何を対象として)	市内において平成12年以前に建てられた戸建て木造住宅を所有し、かつ、居住している者。
手段 (どのようなやり方で)	無料の耐震相談会を定期的に開催するほか、広報そでがうらへの掲載、公民館まつりでの耐震ブース設置等による事業PRを行う。耐震診断及び耐震改修工事における費用の一部を助成する。また耐震改修を実施する者についてはリフォーム工事費用の一部助成する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	大規模地震の発生による建物の損壊・倒壊の抑制及びそれに伴う人的被害の抑制を図り、災害に強い安全で安心なまちづくりを推進する。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	無料耐震相談会 耐震診断助成 耐震改修補助 リフォーム補助 耐震改修促進計画改定	無料耐震相談会 耐震診断助成 耐震改修補助 リフォーム補助	無料耐震相談会 耐震診断助成 耐震改修補助 リフォーム補助

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 耐震診断補助金交付件数	件	34.0	35.0	35.0	35.0	35.0
	② 耐震改修補助金交付件数	件	14.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	③						
活動指標	① 無料耐震相談会実施回数	回	16.0	14.0	14.0	14.0	14.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度 合計
事業費	14,925	14,925	14,925	14,925	44,775
一般財源	5,590	5,590	5,590	5,590	16,770
特定財源	9,335	9,335	9,335	9,335	28,005

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	市営住宅維持管理事業	NO.	122
担当所属	都市整備課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度
	施策	6 住宅	会計区分	一般会計
	方向性	2 住宅セーフティネットの形成	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	適正に維持管理を行い、市営住宅の既存ストックを活用し、住宅困窮者に対して低家賃で住居を提供します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	市が管理する市営住宅の住環境の整備のため
対象 (誰・何を対象として)	市営住宅（飯富・上蔵波）
手段 (どのようなやり方で)	袖ヶ浦市営住宅長寿命化計画に基づき、定期的な見直しを行いながら、維持管理を適切に行う
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市営住宅が抱える問題点を的確に把握し、市営住宅ストックの活用が出来る。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	市営住宅の適正な維持管理	市営住宅の適正な維持管理	市営住宅の適正な維持管理

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 入居率（神納谷団地を除く）	%	87.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	②						
	③						
活動指標	① 入居募集回数	回	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度合計
事業費	2,753	2,615	2,689	4,145	9,449
一般財源	0	0	0	0	0
特定財源	2,753	2,615	2,689	4,145	9,449

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	空家等対策事業	NO.	123
担当所属	都市整備課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
	施策	7 公共交通	会計区分	一般会計
	方向性	1 都市間交通の利便性確保	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	空家等対策計画に基づく空家等の適切な管理を推進します。 著しく管理が不適切な状態にある空家に対し、改修や活用に関する助言・指導等を行うとともに空家バンク制度の活用を推進します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることに鑑み、空家等対策の推進に関する特別措置法及び袖ヶ浦市空家等対策の推進に関する条例に基づき、市民等の生命、身体及び財産を保護するとともに良好な生活環境の保全を図り、あわせて空家等の活用を促進する。
対象 (誰・何を対象として)	袖ヶ浦市内の空家等所有者 市内の空家等の利用希望者
手段 (どのようなやり方で)	空家等対策計画に基づく空家等の適切な管理の推進 空家バンク制度の活用 著しく管理が不適切な状態にある空家の改修や活用に関する助言・指導等
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	管理が不適切な状態の解消による、環境、景観への影響の改善や防災性の向上 空家等の所有者等による適切な管理の意識の向上 空家等の発生による地域力の低下の防止

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	空家等対策計画に基づく運用 空家バンク制度の運用 空家バンク利用活性化の制度の検討	空家等対策計画に基づく運用 空家バンク制度の運用 空家等対策計画の見直し 空家バンク利用活性化の制度の検討	空家等対策計画に基づく運用 空家バンク制度の運用 空家バンク利用活性化の制度の検討

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 空家バンク物件登録等件数	件	8.0 (H30)	11.0	13.0	15.0	15.0
	② 空家等の活用件数	件	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	③						
活動指標	① 制度の周知の実施回数	回	5.0 (H30)	5.0	5.0	5.0	5.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度 合計
事業費	1,455	1,372	1,372	1,372	4,116
一般財源	1,455	1,372	1,372	1,372	4,116
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	高速バス利便性向上事業	NO.	124
担当所属	企画課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
	施策	7 公共交通	会計区分	一般会計
	方向性	1 都市間交通の利便性確保	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	バス事業者に路線の延伸や増便などについて、継続的に要望活動を行い、高速バスの競争力強化に向けた更なる利便性向上を図ります。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	高速バスの利便性の向上を図る。
対象 (誰・何を対象として)	バス運行会社 (効果の対象は市民、来訪者等)
手段 (どのようなやり方で)	関係機関（バス運行会社等）に協議・要望を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市民の交通利便性の向上

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	利用促進のPR バス事業者への要望	利用促進のPR バス事業者への要望	利用促進のPR バス事業者への要望

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 高速バス利用者数	人	1,153,172 (H30)	1,160,000.0	1,160,000.0	1,160,000.0	1,160,000.0
	②						
	③						
活動指標	① 利用促進PR回数	回	6.0 (H30)	3.0	3.0	3.0	3.0
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度 合計
事業費	0	20	20	20	60
一般財源	0	20	20	20	60
特定財源	0	0	0	0	0

第1期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	地域公共交通づくり事業	NO.	125
担当所属	企画課	関連所属	

【事務事業基本情報】

章	4 都市形成・都市基盤	事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
施策	7 公共交通	会計区分	一般会計
方向性	2 市内での移動手段確保	新規事業	
		総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	地域住民の交通利便性を確保するため、既存バス路線の運行を維持するための補助金交付等を行います。交通弱者の移動手段について、地域住民・NPO等が主体となった取組に対して支援します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	地域住民の交通利便性を確保するため、現行の路線バスの維持を図る。 交通弱者の移動手段を確保する。
対象 (誰・何を対象として)	バス運行会社及び事業主体 (効果の対象は市民)
手段 (どのようなやり方で)	地域住民の交通利便性を確保するため、既存バス路線の運行を維持するための補助金交付等を行います。バスの利用促進を図るため、バスの乗り方教室の開催や啓発活動に取り組みます。交通弱者の移動手段について、地域住民・NPO等が主体となった取組に対して支援します。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市民の日常生活に必要な路線バスを維持し、市民の交通利便性を確保する。 交通弱者の移動手段を提供し、社会参加の機会を確保する。

【事業計画】

	R2年度	R3年度	R4年度
事業計画	バス路線維持にかかる補助金交付 利用促進のPR 事業者との協議 バス路線の見直し検討 地域交通の支援	バス路線維持にかかる補助金交付 利用促進のPR 事業者との協議 バス路線の見直し検討 地域交通の支援	バス路線維持にかかる補助金交付 利用促進のPR 事業者との協議 バス路線の見直し検討 地域交通の支援

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
成果指標	① 路線バス利用者数(補助対象路線)	人	176,945 (H30)	178,000.0	178,000.0	178,000.0	178,000.0
	② 各団体の平均外出支援者数(地域交通支援事業)	人/日	15.2 (H30)	15.5	15.5	15.5	15.5
	③						
活動指標	① 路線バス利用促進広報・PRの実施回数	回	6.0 (H30)	6.0	6.0	6.0	6.0
	② 地域交通支援事業の周知回数	回	2.0 (H30)	2.0	2.0	2.0	2.0
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R2～R4年度 合計
事業費	59,311	53,845	59,296	62,061	175,202
一般財源	59,311	53,845	59,296	62,061	175,202
特定財源	0	0	0	0	0